

成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより146号
R1. 12. 10

読書ポップを勝手に講評

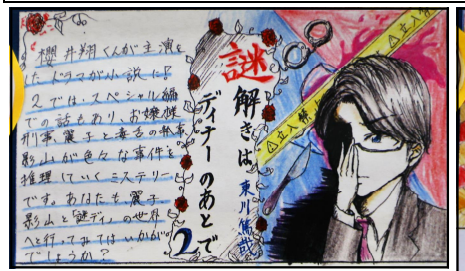


読書ポップコンテストで見事、上位入賞を果たした作品を誰も講評してくれないので、美術専門の私が独自の審美眼で勝手に講評しておきます。

金賞に輝いたのは3作品です。

まずは、3年生のS・Dさん。さすがですね。白黒のコントラストを使い、ごついゴシック体のロゴ、空虚な心を映し出す眼でシンブルに作成しています。ドストエフスキーの罪と罰を連想させる濃厚な表現。文字にヒビが入ったり、欠けたりしているところ、グッと読みたくなるポップ。

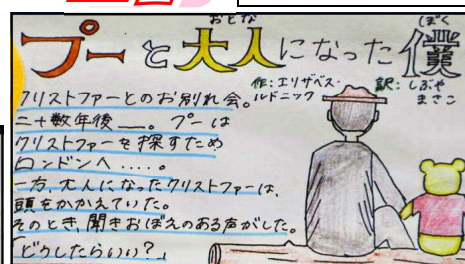
2年生のC・Kさんはポップ界の常連です。お金では買えない幸せのかたちのキヤッチが良い。人物の顔や服のグラデーション、顔色のおレンジを効果的に取り入れ、億男を目立たせています。水玉模様はコインの意味なのか？は、わからないが模様も良い。



結論、ゴシック体は水玉模様やストライプ、ドット、ペイズリーなどの模様が入れやすい書体。

1年生のY・Cさんは、黄色リンゴのシャツにリンゴ頭の主人公がリンゴ感を出している、目を引きまます。周囲の交互に並べた赤とオレンジのリンゴも縁で飾られていて楽しい。「りんごかもしれない」に「なにもかも」も一と入れた方が良かったかもしれない。

惜しくも銀賞となった3年生K・Kさんの謎テイは、面白い番組でした。櫻井翔さんの嫌みたっぷりな毒舌の影山と北川景子さんのノーマスなお嬢・麗子との会話を楽しんでいました。影山の手が小さいのが気になるポップだ。左は影山のセリフでも良かった



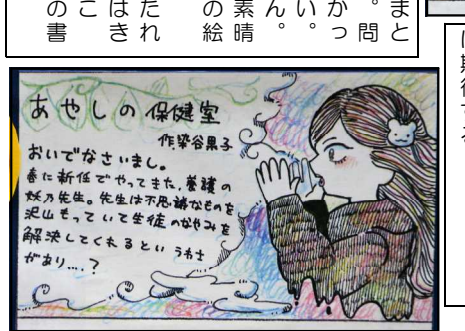
2年生銀賞は、T・Mさんのポップ。プーさんが初めて実写化されたディズニー映画の小説版。背中の表現と文字の形が良いよね。風景など遠近感があるカットがほしいところ。また、文字が多すぎるので、シンブルに大事なことだけ抜き取って書けば良いと思います。ポップは読んでいない人に本の良さを伝えるメッセージですから。



3年生銅賞のT・Sさんのポップ。イラストは線が柔らかく、方向が意識されていてレベルが高い。色鉛筆の効果もよく、雲の描き方も表現力がある。さすが、美術部員だ。あやしの先生の不思議さと怪しさ感もつと伝わり、良かったかも。本のタイトル文字に工夫がほしいところ。次に期待する。

ったか？。赤・青・黒でまとめた配色が成功している。問題は何故、麗子を描かなかつたのか？。次に期待したい。1年生で銀賞のO・Aさん。二人の主人公の描き方は素晴らしいです。他にチエアの絵もほしいところです。

一〇五度とは椅子の背もたれの角度のこと。読み手にはきれいな文字で伝えたいところ。デザイナー志望必読の書である。



2年生O・Yさんの銅賞ポップ。個人的にはバス、ライトイヤーを出してほしかったが、全体の構成が良い。ミスターポテトヘッドが解説しているのも良い。中央の空間が寂しい。ディスプレイらしい華やかさも出していきたい。

1年生A・Wさんの銅賞ポップはふまんがあります。だ。何故、このカットを使ったのか疑問だが、軽快なイラストは、この本の雰囲気をよく出している。主人公の顔は、もうちょい大きい方が良く思う。安定した表現力で基礎がありますね。



おもしろいお話で、新しい冒険が始まる！さあ、この行方と迷いハスは、仲間たちと大冒険の旅を開始！

読書ポップカードは図書館に掲示されています